

## 訳者あとがき

ITIL(Information Technology Infrastructure Library) に関連する仕事にここ数年携わって参りましたが、この本を読んだ時に初めて、ITIL の真の意味を理解したように感じました。

日本で運用業務に関わっているできるだけ多くの方々に、この「THE VISIBLE OPS HANDBOOK」の存在を知ってもらいたいと考え、この素晴らしいハンドブックを翻訳しました。

サービスサポートやサービスデリバリーなど、OGC(Office of Government Commerce)から出版されている数々の書籍とは全く別の角度から ITIL を見直してみることで、読者の方々が新たな発見をされたのであれば、非常に嬉しく思います。

多くの試行錯誤と紆余曲折があり、思い立ってから今日に至るまで約1年が過ぎようとしています。ようやく出版できますのも、多くの皆様からのご支援の賜物と存じております。特に訳者の拙訳を、レビューしていただき、貴重なご指摘やご忠告を賜りました先輩諸氏の皆様には、この場をお借りして厚く御礼申し上げます。(五十音順、敬称略)

猪木 一成	大庭 慶太	海津 成男	梶井 恵雄	小林 理枝
澁谷 昌利	樋口 睿志	舟野 真樹	本杉 文二	前田 隆

私は現在、ITIL の認定試験(The Foundation Certificate)向けのトレーニング・コースの講師をしております。今後も ITIL の分野で活動して参りますので、どこかで読者の皆様とお会いすることがあるかも知れません。その時まで ITIL がもっと身近な存在になっていることを、心から願っております。

尚、この翻訳本に関するご意見、ご質問等ございましたら、以下にお送りください。

[info@olivenet.co.jp](mailto:info@olivenet.co.jp)

また、この翻訳本に関する更新情報は、次のサイトに掲示する予定です。

<http://www.olivenet.co.jp/visibleOps/>

最後に、今回の出版に際して、George Spafford 氏、Kurt Milne 氏を始めとする ITPI の各氏にも、改めて御礼申し上げます。

2005年11月

有限会社 オリーブネット  
代表取締役社長 官野 厚